

## あ と が き

保健管理センター准教授 鈴木健一

保健管理センター年報・紀要の第2号をお届けします。通巻では36号となる本誌は、昨年度より、「年報・紀要」として、従来までの業務報告に加え、教育、研究活動も含めた私たちの振り返りの記録となっています。

本誌に掲載されているのは2008年度の業務報告になりますが、保健管理センターは2008年4月より、健康科学部門とスポーツ教育部門という2つの部門によって再編成され、部門長として、健康科学部門では吉川弘明教授が、スポーツ教育部門では大久保英哲教授(学校教育学類との併任)が着任しました。この2008年4月は、本学が「3学域16学類」として新たにスタートを切った年でもあります。本誌でも、学部生に加えて、学類の新入生が加わっています。新入生が1年間の共通教育を経てから、自分の進路や希望するコースを決定できるという学類制の特徴は(もちろん医学・保健学・薬学といった専門性に特化した学類は入学時に進路が決定されていますが)、不本意入学や入学後の進路変更希望といった非常事態を回避させる配慮でもあり、学生相談に携わっている私としても期待をよせるところです。

学生相談室で悩みを語っていた学生たちが、その程度がわずかであっても、キャンパス内を苦にすることなく歩けるようになったり、登校を再開したり、レールを敷いて子どもの冒険を阻止する親と対峙できるようになったりすると、とてもうれしいものです。さらには、卒研や卒論を無事に書き終えたり、就職先や進学先を得て卒業したり進学したりしていく姿を見届けることができるのは、とても幸せなことだと感じます。当センターの業務は、健康管理、メンタルヘルス、安全衛生、そしてスポーツ教育と、多岐にわたります。学生支援GPは最終年に突入します。本誌に掲載している業務報告以外の、データには表れていない行間の部分で、保健管理センタースタッフはみな、学生たちと接し、学生たちと話をし、学生たちの支援を行い、そして、学生たちから多くを学んでいます。これらの経験をもとに、今後も学生及び教職員の快適な活動を支援し、充実したサポートシステムを構築していきたいと思えます。

関係各位のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2010年1月

---

---

金沢大学保健管理センター一年報・紀要  
第2号（通巻36号）

平成22年3月

編集・発行：金沢大学保健管理センター

編集担当者：鈴木健一

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5254

FAX 076-234-4044

Eメール [hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp](mailto:hokekan@kenroku.kanazawa-u.ac.jp)

---

---